

会 議 録

会議の名称	令和2年度 第1回 池田市社会教育委員会議		
日 時	令和3年2月17日(水) 午前10時00分～11時30分		
場 所	中央公民館 2階 会議室A		
出席者 議長:◎ 副議長:○	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>《委 員》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 藤原 一秀 ◎ ・ 小倉 嘉夫 ○ ・ 佐藤 秀輝 ・ 中路間 美貴 ・ 布谷 知夫 ・ 古田 刺男 ・ 山際 博 (校長) <p style="text-align: center;">計 7名</p> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>〈事務局職員〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 田淵教育長 ・ 荒河教育部部長 ・ 田上教育部次長兼歴史民俗資料館長 ・ 前野生涯学習推進課長 ・ 阿部中央公民館長 ・ 塚原図書館長 ・ 家門石橋プラザ館長 ・ 細谷生涯学習推進課主幹 ・ 國安生涯学習推進課主任主事 <p style="text-align: center;">計 9名</p> </td> </tr> </table>	<p>《委 員》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 藤原 一秀 ◎ ・ 小倉 嘉夫 ○ ・ 佐藤 秀輝 ・ 中路間 美貴 ・ 布谷 知夫 ・ 古田 刺男 ・ 山際 博 (校長) <p style="text-align: center;">計 7名</p>	<p>〈事務局職員〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 田淵教育長 ・ 荒河教育部部長 ・ 田上教育部次長兼歴史民俗資料館長 ・ 前野生涯学習推進課長 ・ 阿部中央公民館長 ・ 塚原図書館長 ・ 家門石橋プラザ館長 ・ 細谷生涯学習推進課主幹 ・ 國安生涯学習推進課主任主事 <p style="text-align: center;">計 9名</p>
<p>《委 員》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 藤原 一秀 ◎ ・ 小倉 嘉夫 ○ ・ 佐藤 秀輝 ・ 中路間 美貴 ・ 布谷 知夫 ・ 古田 刺男 ・ 山際 博 (校長) <p style="text-align: center;">計 7名</p>	<p>〈事務局職員〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 田淵教育長 ・ 荒河教育部部長 ・ 田上教育部次長兼歴史民俗資料館長 ・ 前野生涯学習推進課長 ・ 阿部中央公民館長 ・ 塚原図書館長 ・ 家門石橋プラザ館長 ・ 細谷生涯学習推進課主幹 ・ 國安生涯学習推進課主任主事 <p style="text-align: center;">計 9名</p>		
欠席者	田中 委員		
傍聴者	なし		
議 題	1. 池田市の社会教育の現状と課題について 2. その他		
配布資料	資料1 池田市社会教育組織図 資料2 池田市の主な社会教育施設一覧 資料3 池田市の社会教育施設位置図 資料4 池田市の社会教育の現状と課題		

開会

- ・委嘱状交付
- ・教育長あいさつ
- ・議長・副議長選出
- ・議長あいさつ

・案件1 池田市の社会教育の現状と課題について

議長 案件1について、事務局に説明をお願いする。

事務局 生涯学習推進課は、社会教育関係団体の支援、社会教育施設との連絡調整、スポーツ振興、オリンピック・パラリンピックのホストタウン関係事業、文化財、市史編纂事業等、幅広く行っているところ。くれは音楽堂については、平成19年から市民も利用できるようリニューアルして管理をしているところ。青少年野外活動センターについては、老朽化が目立ち、平成22年から利用を休止しているところ。

課題については、社会教育を担う団体構成員の高齢化、行政が団体事務をやって当然といった考えのところが多いこと、社会教育の専門職である社会教育主事が今のところいないこと、スポーツ部門では、スポーツ振興条例が平成28年に制定され、オリンピックのロシア、パラリンピックのフランスの事前キャンプ地として登録され、準備を進めているところだが、スポーツを行う課として独立していなく人手不足ということ、文化財部門については専門職員が高齢化しており、新たな採用が必要となっていること、社会教育施設は昭和に建てられた建物ばかりで老朽化が目立つということ。

中央公民館は、平成26年に現在の建物が新築され、貸館業務と、主催講座の実施、市美術展、市民短歌大会等の開催などを行っているところ。

課題については、1階の旧図書コーナーは、消防法の関係で、現状のままでは中央公民館の所管とできず、費用の捻出も難しいことから、現在は生涯学習推進課の所管として、市・教育委員会関係の展示でしか利用できない状況となっている。できれば中央公民館の所管として、幅広い使い方ができればと考えているところ。また、市の美術展は、市の文化振興基金を取り崩して運営しているが、残高に限りもあり、財源の問題も含めて考えていく必要があるところ。また、貸館業務についても、現在は窓口で手続・支払をしていただいているが、システム化の検討が必要というところ。

図書館は、令和元年5月に五月丘から池田駅前の呉服町に移転した。五月丘の旧図書館は、現在、書庫・移動図書館車の駐車場として利用している。図書館サービスの点では、公立図書館の相互協力の促進を目的に、平成24年度から豊能地区3市2町との広域利用、26年度からは川西市と相互利用、29年度からは北摂地区7市3町の広域利用を開始したところ。

課題については、旧図書館の蔵書23万冊をどうしていくか。令和4年度から開設される石橋新図書館へ10万冊は移設できるが、13万冊が残るところ。また、旧図書館は、現在

は教育財産となっているが、令和8年度までに普通財産に変更しなければならず、普通財産化後も蔵書を収蔵できるか、市長部局と協議が必要となってくる。また、現在の移動図書館車は平成16年から運行を開始しているが、車両の老朽化が課題となっているところ。また、学習室は図書館に必ず置かなくてはならないものではないが、旧図書館にはあったため、新図書館にも設置してほしいという声は多いところ。

石橋プラザは、石橋新図書館として、男女共生サロンと国際交流センターが統合した多文化共生施設と地域子育て支援拠点を集約した複合施設内に設けられ、令和4年開設予定である。面積は現在の1.9倍に、蔵書数は4万3千冊から14万3千冊の3.3倍になる予定。

歴史民俗資料館は、令和2年度に収蔵庫の空調改良工事が行われ、また、新型コロナウイルスの影響で、今年の3月から休館していた。2月10日から開館している。

課題については、収蔵庫が狭すぎると文化庁から指摘されているところ。また、展示室も充実していなく、仮に国の重要文化財の展示をしようとしても文化庁の許可は下りないと思われ、今後は、建物の改修ではなく、根本的な建替を考えていかなければならないと考えているところ。人材の問題についても、今年度、生涯学習推進課で考古学の専門職員の採用試験を行ったが、不調に終わったところ。

総合スポーツセンター及び水月児童文化センターについては平成16年度から、五月山児童文化センターについては平成20年度から、児童館については平成21年度から、指定管理者制度を導入しているところ。建物については昭和40年代に建てられたものであり、老朽化が非常に目立っているところ。

池田市では、令和4年度末までに平成28年に作られた「池田市公共施設等総合管理計画」の見直しを行い、令和4年度から個別施設計画の実施を進めていく予定である。そのため、教育委員会としては、今後の社会教育施設のあり方について考えていく必要があり、委員からは原点に立ち返ってのご意見をいただければと考えている。

議長 それでは、社会教育全体について、委員から意見ををお願いしたい。

委員 五月丘の旧図書館は魅力的な場所にある。収納スペースがないという問題を図書館と歴史民俗資料館の両方が持っている一方で、使えないスペースがあるという問題を中央公民館が持っている。中央公民館1階スペースを書庫、あるいは資料館の展示スペースとして使ってしまうなどして、旧図書館は空け、それを財源にして、保管に特化した建物を建ててはどうかと思った。また、「池田市公共施設等総合管理計画」については、一般に公開されているのか。

事務局 ホームページで公開されている。

委員 計画が策定された当初から、こうしようという青写真はあったが、それをアップデートしたいということか。

事務局 平成28年に作られた計画は、課題の抽出を主としていた。その計画で、今後40年間で施設の建替等に1,225億円がかかると提示されたものである。

委員 1,225億円がという金額がでてきて、財源も計画もない状況ということ。

議長 そうした意見も含めて、全体像についてご意見をいただければと思う。全体像をきちんと持つことが、社会教育の今後の発展につながってくる。

委員 例えば、青少年野外活動センターについては、箕面市にも同様の施設がある。新たに財源を確保して青少年野外活動センターを整備する必要はないと思う。

委員 個人的には指定管理は良くないと思っているのだが、指定管理施設について、市の方で何か方針はあるか。

事務局 地方自治法の改正があった平成16年から、池田市では水月児童文化センター、スポーツセンター等に指定管理制度を導入している。経費節減という部分も大きいですが、水月児童文化センターや五月山児童文化センターについては、指定管理者が面白い斬新な事業をやっており、プラネタリウムも小さいながら、年間1万人近くの来客がある。指定管理にしたことで、民間のノウハウが生かされていると考えている。

今後、直営の社会教育施設である中央公民館と図書館について、指定管理を検討していくのかということについては、常に検討課題で、市全体で考えていくべきことだが、現状では、中央公民館、図書館については、社会教育の拠点施設と認識しており、当面は直営でと考えている。このことは、議会でも色々と質問をいただいております、賛否があるところではある。

委員 指定管理については、全体でみればうまくいっていない事例が多い。指定管理者に恵まれると、うまくいっている事例もあるということだと思いが、指定管理の導入については、安易に考えずに。

委員 五月山体育館については説明に入っていなかったが、対象施設ではないのか。

事務局 スポーツ・文化という広い目でみると、五月山体育館は社会教育施設という捉え方もできるが、五月山体育館は、公園条例で規定されているため、教育委員会事務局ではなく公園みどり課が所管しており、社会教育施設ではないため、説明になかったもの。

委員 学校現場は、図書館と歴史民俗資料館と密接なかわりがある。歴史民俗資料館には、小学校1年生の国語の「たぬきの糸車」に関連して、糸車を学校に持って来ていただいたりしている。今年度はコロナのため来ていただけなくなり、先生が資料館で学んで、先生が学校で教えるという、発展した取り組みになった。こうした取り組みが学校園で行われていることを考えると、課題とされている学芸員の育成というのは、心配である。学校にとってもありがたい存在なので、大学とも関係を結んでいただき、人材を確保してほしい。

事務局 資料館としても出前授業はどんどんやっていきたい。学校で出前授業をやると、次の週末に子どもが親と一緒に資料館に来てくれるといったこともある。学芸員については、来年度も採用試験を実施しようと考えている。

副議長 所属している大阪青山大学では池田市と包括連携協定を結んでいるが、連携しきれていないと思っている。ここにおられる方も学校関係者も多いので、ネットワークを生か

して色々な可能性があるのではないか。

委員 猪名川グラウンドだが、2年に1回は浸水して使えなくなっている。国交省とも話をしてもらって、整備を進めていただければ。

事務局 猪名川グラウンドについては、五月山体育館と同じで、広い意味では社会教育施設という捉え方もできるが、教育委員会事務局が所管していない。スポーツ・文化については、市長部局が所管しているまちもあるが、本市は、教育委員会と市長部局の両方に所管が分かれている状況。猪名川グラウンドについては、多くあるスポーツの社会教育関係団体に使っていただけるよう、市長部局と連携しているところ。今後、市の中で所管をどうしていくかということについては、首長の考えにもよる。現状は、これまでやってきた所管の中で、それぞれを充実させていくための予算、人材をお願いしているもの。また、旧池田北高校のグラウンドについても、できるだけ池田市がに使わせてもらえるよう、市と府の教育委員会の間で話をしている。

委員 池田市には、400mトラックがないが、旧池田北高校のグラウンドをいっぱいに使えば確保できる。

議長 そうした問題については、長年の懸案と認識している。

私の意見だが、池田市の学校教育は、少人数制、産総研との連携など、特色あるコンテンツがある。社会教育の方でも、はっきりとした特色が必要。そういうものが見えてくると、人材や予算の確保がしやすいと思う。例えば、池田は掘り下げていけば新しい発見がある歴史のまちだと思っている。少子高齢化となってくると、時間がある方も増えてきて、そういう方たちが池田にこんな歴史があると分かると、活動していくときに充実感が生まれてくるのでは。

スポーツ・文化関係の社会教育施設と学校の連携の強さなど、社会教育と学校教育で一体化した「教育日本一のまち」というイメージを模索して、予算や施設に関するビジョンをしっかりと打ち出していくといいのでは。

委員 学校は、ヒューモビリティワールド、インスタントラーメン発明記念館、池田文庫、逸翁美術館等といった市内の施設と公立・私立の関係なく連携をとっている。それぞれは全国的にも価値の高い施設だと思っているので、市の社会教育施設とそうした施設が連携したネットワークがあれば、社会教育として打ち出していけるものになるのではないか。

事務局 情報提供だが、学校に高速の通信ネットワークが導入され、一人一台タブレットが使える環境になった。それを授業の中で活用していくことがこれからの目標である。歴史民俗資料館の出前授業は、オンラインで配信してもらい、教室の電子黒板で見せたが、これからは子どもたちが一人一台タブレットを持っているので、それをもっと有効に生かせないかということ。例えば、タブレットに池田の社会教育にまつわるコンテンツを入れ込み、子どもたちが身近に見られるようにしていけば、もっと池田のことを分かってもらえる可能性があるとも思った。

委員 オンラインについては、国が使用するソフトを決めかねているため、ネットワーク環

境が整備されているのにつなげれないという問題がある。市でも整備を進めていただき、公式なウェブ会議等ができるようにしてほしい。

委員 以前、博物館と図書館が連携する事業に携わったことがあるが、社会教育施設間の連携でも、色々なことができると思う。池田市は、逸翁美術館とインスタントラーメン発明記念館など、全国的に有名な施設があるので、やはりそうしたところを生かすといいのではないかな。

議長 本日の議論はここまでとさせていただきます。

閉会